

[1] 授業の狙い

- 情報処理、特に<プログラミング>のイメージを、実際に体験することによって得ること
卒論・院での実験で、データ処理によって結論を導くとき、既存のプログラム（アプリ）では足りない・できないということがあります。その時、自前でプログラムを勉強して作るか？でもハードル高いぞ！なわけですが、この授業で伝えたいことは、「この程度」というイメージです。（それがきついか否かは自分で決めてください）

「やってみよう」となった人のために、「こっちの方に行くとこんなことがある」といった紹介をしたいと思っています。

[2] やる（つもりの）こと

- Pythonという言語を使って、簡単なプログラミングに挑戦します
「初めて」という人を対象にします ⇒ むずかしいことは<無視>します
いくつかのテーマ（ネタ）に挑戦します ⇒ 生物系も、生物系でないものも取り交ぜて...
できないとき ⇒ なぜできないか、一緒に考えてみたいです

Pythonは、最近プログラミングの世界で非常に人気の高い「プログラミング言語」です。人気の理由として

初心者にとって<とっつき>がいい
とにかくプログラムを始めるのに必要な最小限の知識が、（他に比べて）少ない
どうでもいい呪文や約束事が少ない
とされています。

- 毎回いろいろな課題でコンピュータ実習をするスタイルです
いろいろな課題を試してみてください。「こうすればできるんだ！」と思ってもらえれば、しめたものですが。
- 学期が終わった時に、たとえば
「プログラミングってこんなものなんだなあ」
「プログラミングをできるようになるには、こんなことを勉強すればいいんだな」
というようなことを分かってもらえればよいと思っています。

<Pythonのプログラムがバリバリ書けるよ>が目標ではありません。 ← それはそれで大歓迎ですが！

- 履修の条件

とにかく「やる気」と「好奇心」 できれば多少のタイプ打ち経験

[3] 評価など

- 授業中の学習態度30% + 授業内の小課題30% + 最終レポート40%
授業の狙い(とにかく体験/イメージをつかむ)に照らして、ちゃんとやったかを評価します

- 教科書など:

授業に沿った教科書はありません。毎回資料を配布します。
参考書になる本を準備しているのですが、11月にならないと出ない予定です。
Pythonによるバイオ情報処理(仮) 山内長承 オーム社
実習用USBメモリを貸出す予定です。学期の最後に返してください。来年も使います。

- 山内のアクセス:

非常勤なので、月曜日・水曜日だけ大学に来ています。

月曜日: 9:00~16:00 (会議等が無ければ)

水曜日: 12:10~16:00 (会議等が無ければ)(1・2限は授業)

オフィスは、5号館5階 理学部教育開発センター事務室 です。

メール yamanouc@is.sci.toho-u.ac.jp でアポ(事前予約)をしておく確実に。